

和歌山県立医科大学附属病院 心臓血管外科／呼吸器外科・乳腺外科

当科の特徴

第一外科は心臓血管外科（専門医3名）、呼吸器外科（専門医3名）、乳腺外科（専門医4名）の3部門より構成されています。心臓血管外科は冠動脈バイパス術などの成人心臓手術に加え、県内唯一の施設として小児心臓手術も行っています。また、和歌山県下全域から大動脈解離などの緊急手術を受け入れています。また、関連施設においてはカテーテル治療や下肢静脈瘤などの末梢血管手術も行っており、心臓血管外科の全般にわたる研修が可能です。呼吸器外科では原発性肺がん、転移性肺腫瘍、縦隔腫瘍などの手術を行っており近年症例数が増加しています。また胸腔鏡下手術やロボット手術による低侵襲化や気道インターベンションなども積極的

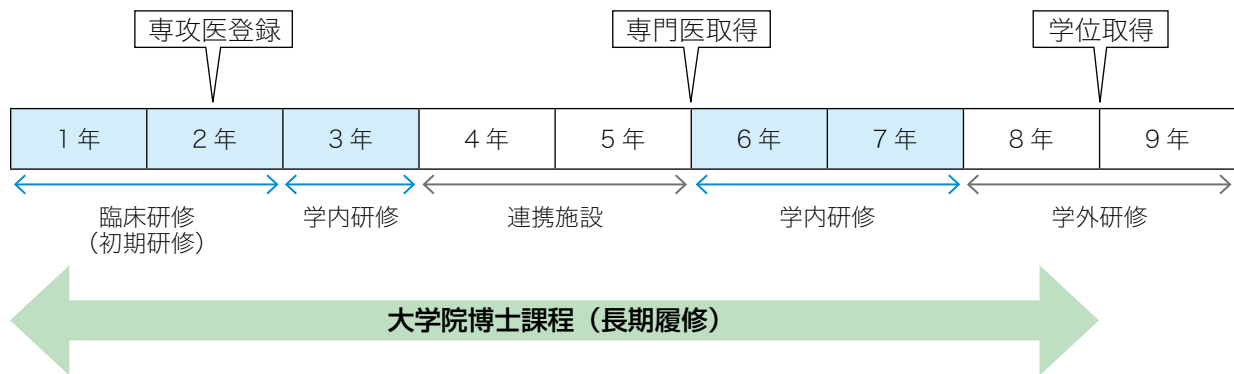
に行っています。乳腺外科は乳がんの診断、治療（手術、化学療法）を一括して行っています。また、広背筋を用いた乳房再建を積極的に行っており、乳がん術後のQOLの向上を目指しています。第一外科には女性医師が多く、ワークライフバランスを考慮した診療体制をとっています。初期研修終了後、基本領域の研修に引き続き各分野の専門領域に分かれて研修を行い専門医取得を目指します。希望に応じて大学院への入学を考慮します。



ローテーション例

一般枠コース

※ □ は学内研修

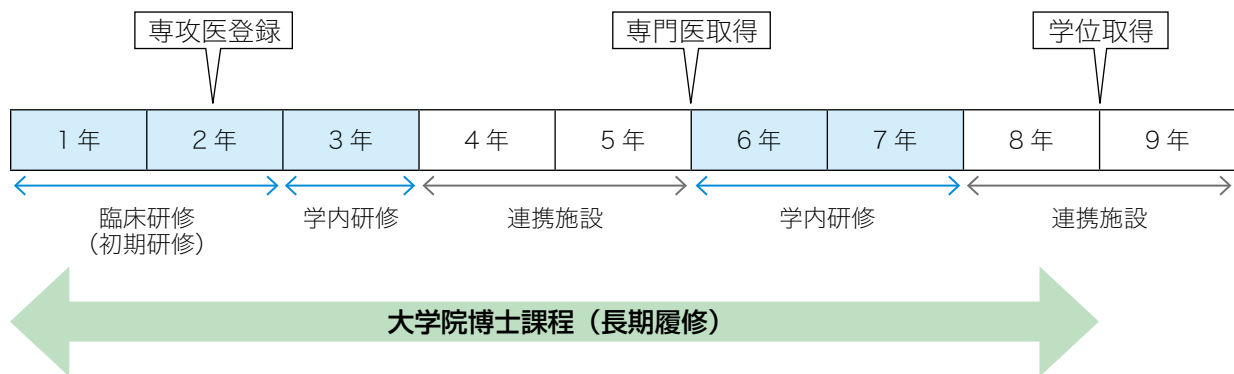


一般枠コースでは2年間の初期臨床研修終了後、3年目は和歌山県立医科大学附属病院第一外科で研修を行います。4年目、5年目は第一外科の関連施設を含む地域の中核病院（連携施設）で研修を行い、基本領域専門医を取得します。6年目、7年目は第一外科で勤務し、それぞれのサブスペシャリティの専門医取得に向けた研修を行います。8年目、9年目は連携施設で研修を行いつつ週一回は第一外科での研修を行い、この間にサブスペシャリティの専門医取得、学位取得を目指します。この間に希望に応じて国内外への留学を考慮します。

ローテーション例

県民医療枠コース

※ □ は学内研修

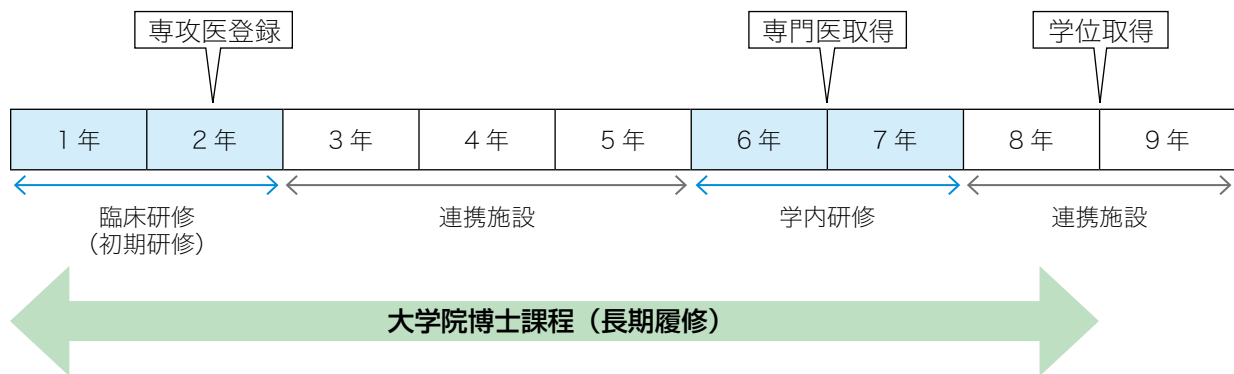


県民医療枠コースでは2年間の初期臨床研修終了後、3年目は和歌山県立医科大学附属病院第一外科で研修を行います。4年目、5年目は第一外科の関連施設を含む地域の中核病院（連携施設）で研修を行い、基本領域専門医を取得します。6年目、7年目は第一外科で勤務し、それぞれのサブスペシャリティの専門医取得に向けた研修を行います。8年目、9年目は連携施設で研修を行いつつ週一回は第一外科での研修を行い、この間にサブスペシャリティの専門医取得、学位取得を目指します。

ローテーション例

地域医療枠コース

※ □ は学内研修



地域医療枠コースでは2年間の初期臨床研修終了後、3年目、4年目、5年目は地域のへき地医療拠点病院等（連携施設）で研修を行います。6年目、7年目に和歌山県立医科大学附属病院第一外科で研修を行い、この間に基本領域専門医を取得し、それぞれのサブスペシャリティの専門医取得に向けた研修を行います。8年目、9年目はへき地医療拠点病院等で研修を行いつつ週一回は第一外科での研修を行い、この間にサブスペシャリティの専門医取得、学位取得を目指します。

研修目標

第一外科では心臓血管外科、呼吸器外科、乳腺外科の3部門の研修を行っています。基本領域専門医取得においては各分野の基本的な周術期管理を上級医指導の下に理解し、第二助手として手術に参加し、手術手技を学びます。習熟度と疾患の重症度に応じて手術を執刀する機会を与えます。サブスペシャリティの専門医取得においては周術期管理を自ら行い、第一助手または術者として手術に参加し、豊富な症例を経験できるように指導します。心臓血管外科は県内の心臓外科の施設と「紀の国修練プロジェクト」を形成し、研修を行う体制を作っていきます。

教授からのメッセージ



西村 好晴 教授

和歌山県立医科大学第一外科は診療科として心臓血管外科、呼吸器外科、乳腺外科の3部門からなっています。心臓血管外科は冠動脈バイパス術、弁膜症、大血管手術など年間の開心術が250例程度と症例数が豊富です。また、県内では唯一の先天性心疾患の開心術を行っています。ステントグラフトや経カテーテル大動脈弁置換など低侵襲な手術もハートチームで行っています。一方、末梢血管に関しては関連施設で豊富な血管内治療を経験することが可能です。緊急手術に関しては和歌山県全域から24時間

体制で受け入れており、緊急冠動脈バイパス術や大血管手術に対応可能な施設です。

経験目標

基本領域専門医研修においては3部門の診断、周術期管理を理解し、助手として手術手技を理解し、簡単な手術の執刀（末梢血管手術、気胸、単純乳房切除）を経験する。サブスペシャリティの専門医研修においては第一助手として手術に参加し、習熟度に応じて術者としての経験を積むことを目標とする。心臓血管外科では腹部大動脈瘤手術、単弁置換、冠動脈バイパス術、呼吸器外科では胸腔鏡下肺葉切除、乳腺外科では乳房再建を伴う乳房切除などを術者として経験する。

呼吸器外科は近年、手術症例数が増加し、症例数が豊富です。胸腔鏡下手術やロボット手術気道インターベンションの導入を行い、低侵襲手術、QOLの向上を目指しています。乳腺外科は乳がんの診断、手術を一括して研修することができます。広背筋皮弁を用いた乳房再建を積極的に行っており、乳がん術後のQOLの向上を目指しています。外科学第一講座での研修は忙しい毎日となりますが、3分野とも症例数は豊富で十分な研修が可能です。地域医療の砦としての責任のもと日々診療に当たっています。メンバーは若手中心であり、少人数ですが、逆に一人一人に目が行き届き、チャンスには恵まれていると思います。当科での研修を希望される一人でも多くの専攻医をお待ちしています。

体制で受け入れており、緊急冠動脈バイパス術や大血管手術に対応可能な施設です。



当科で取得可能な専門医と指導体制

研修施設	心臓血管外科専門医	呼吸器外科専門医	乳腺外科専門医
和歌山県立医科大学附属病院	3名	3名	4名
国立病院機構南和歌山医療センター		1名	
公立那賀病院		1名	2名
和歌山ろうさい病院			1名
岸和田市民病院			1名
国保ささみ病院	2名		
国立病院機構和歌山病院		1名	1名